



平成26年6月30日

海上保安庁

少しの注意で、最高に楽しい海と夏を！

～「夏季安全推進活動期間」に注意呼びかけ～

海上保安庁では、例年、7月・8月に集中するマリレジャー活動に伴う事故を未然に防止するとともに死者・行方不明者を減少させるため、全国でマリレジャー安全推進活動を行うこととしています。特に注意してもらいたい点、活動期間、主な実施事項は以下のとおりです。

海浜事故防止のための注意点

- ◇ 遊泳中の事故に注意（年間のうち約8割が夏季に発生）
⇒飲酒後の遊泳は控える

プレジャーボート等の事故防止のための注意点

- ◇ 機関故障は「重大な事故」を引き起こす
⇒日頃の整備と発航前点検を徹底！
- ◇ プレジャーボートは風・波に弱い
⇒気象の変化による出港取り止め、早期の退避行動を徹底！
- ◇ 花火大会観覧後の事故に注意
⇒適切な見張りと事前の海域調査を徹底！

（詳細：別添1、別添2）

活動期間

平成26年7月1日（火）から8月31日（日）までの2か月間

実施事項

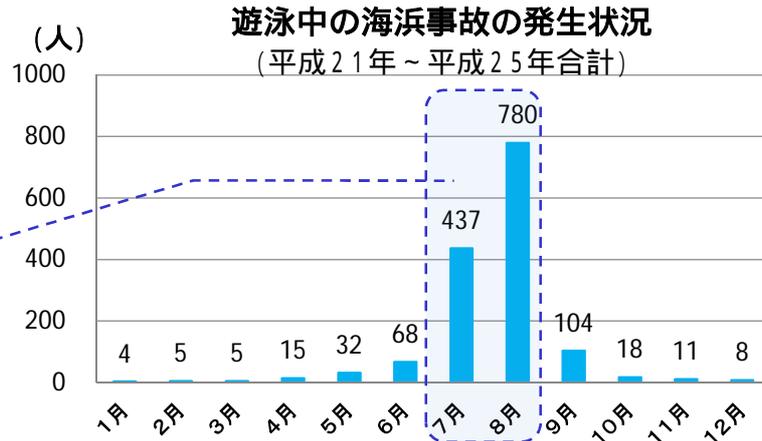
○海浜事故防止

- ・海上保安官による海水浴場の巡回指導の実施
- ・教育機関と連携した若年齢層の事故防止のための安全講習会の実施
- ・地元自治体・関係機関と連携した安全対策の実施
- ・遠隔地から来訪するマリレジャー愛好者の存在を考慮し、ラジオ等のメディア、高速道路サービスエリアでの安全に関する周知・啓発活動の実施 等

○プレジャーボート等の事故防止

- ・巡回やしょう戒、海難防止講習会において発航前点検、適切な見張り、ライフジャケットの着用などの遵守事項に関する指導の実施
- ・ボート販売店などにおいて水上オートバイ及びミニボートに対する安全指導の実施
- ・マリナー及びマスコミ等を通じた花火大会観覧船に対する安全指導の実施 等

遊泳中の事故の傾向



遊泳中の事故の約8割が
7月・8月の2か月に集中

遊泳に関する主な注意点

体調管理を万全に

～睡眠不足及び疲労蓄積の状態や病気による体調不良の状態では、判断能力や運動能力が低下し、遊泳中の事故に遭う危険性が高まります。体調を整えて泳ぎましょう～

遊泳禁止場所では泳がない

～急な深みのある場所や流れが速い場所などの危険な場所の多くは遊泳禁止となっているので遊泳はやめましょう～

悪条件の海での遊泳中止判断

～波が高いと感じる場合、風が強いと感じる場合など遊泳条件が良くないと感じる時は、無理をせずに遊泳を中止しましょう～

小さな子供から目を離さない

～保護者同士での会話などに夢中になり、子供から目が離れることがないようにしましょう～

離岸流に注意

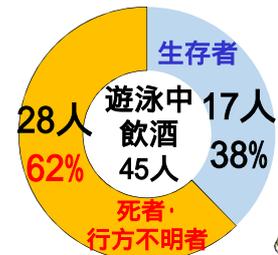
～沖に向かう流れに注意しましょう。もし流れに入り込んでしまった場合は、慌てずに岸に平行に泳ぎ、流れから抜け出しましょう～

飲酒後の遊泳に注意

～飲酒による判断能力や運動能力の低下などにより、遊泳中の事故に遭う危険性が高まります。飲酒後の遊泳は控えましょう～

すい えい
酔泳
注意

遊泳中の事故における
飲酒をしていた事故者の死亡率
(平成25年)



事故事例

【飲酒後に発生した事故事例】

会社の同僚と海辺の公園でバーベキューを行っていたが、**飲酒による高揚感**から、**海に飛び込み**すぐに溺れた。**仲間も救助のため飛び込んだが溺れ**、通行人が投げたロープに掛まり、救助された。

【睡眠不足状態で、長距離運転後に発生した事故事例】

睡眠時間が少ない状態で早朝自宅を出発。約6時間にわたる**長距離移動の後**、海水浴場到着。浮き輪を使用し遊泳していたところ溺れ、海底に沈んでいるのを発見された。その後病院で死亡が確認された。

【睡眠不足状態で、飲酒後に発生した事故事例】

徹夜明けの早朝、海水浴のため車で約4時間移動し海水浴場に到着。その後、**飲酒をしたうえで遊泳**をしていたところ溺れ、海水浴客に救助された。

要注意！夏季期間(7、8月)にプレジャーボートを操船する皆様へ

夏季期間(7、8月)は、夏休みと重なり、花火大会や各種イベントが開催され、マリナーが活発になることから、これに伴う事故も多発します。

要注意

機関故障は『重大な事故』を引き起こす

【モーターボート事故事例】

4名乗組みにて航行中、突然機関が停止し航行不能となり、漂流していたところ、荒天による高波を受け転覆し消波ブロックに衝突した。

乗船者4名のうち1名死亡、1名行方不明、4名とも救命胴衣非着用であった。



機関故障

【水上オートバイ事故事例】

航行中、振動により電気系統の配線が外れ、機関が停止し航行不能となった。

機関故障を防ぐには、**日頃の整備**と**発航前点検**を徹底！

プレジャーボートは風・波に弱い

【プレジャーボート事故事例】

2名乗組みにて航行中、横風を受け海水が流入し、浸水・転覆した。

乗船者2名のうち1名死亡、2名とも救命胴衣非着用であった。



転覆・乗揚

プレジャーボート事故を防ぐには、**気象の変化による出港取り止め**、**早期の退避行動**を徹底！

花火大会観覧後の事故に注意

【花火大会事故事例】

花火大会観覧後、帰港中、夜間航行に不慣れであったことから、GPSの航跡のみを注視し、周囲への見張りを行わないまま航行し乗揚げた。

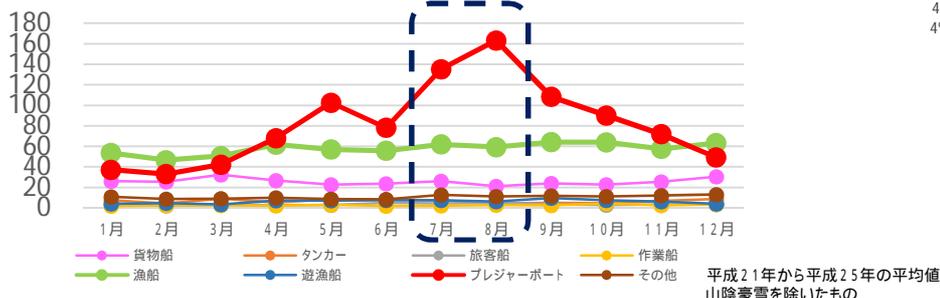


乗揚

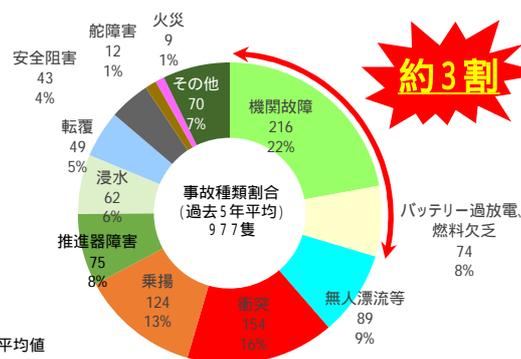
夜間航行時の事故を防ぐには、**適切な見張り**と**事前の海域調査**を徹底！

「船舶事故の傾向(過去5年平均)」

用途別船舶事故隻数の月別推移(過去5年平均)



プレジャーボート
事故種類別隻数割合(過去5年平均)



過去5年平均における用途別船舶事故の推移を見ると、毎年7～8月にかけて**最も船舶事故が発生**し、特にプレジャーボート事故が急増している
プレジャーボート事故は、機関故障、バッテリー過放電及び燃料欠乏が**全体の3割**